

三浦市議会だより

第1回定例会

平成二十一年度予算成立

医療費助成制度に関する意見書を可決



市内では「クリーンアップ・プロジェクト」の一環としてスカベンジ活動が盛んに行われています

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
3月2日	月	本会議	会期の決定、施政方針、議案の審議（説明・委員会付託・採決）
		総務経済常任委員会	議案の審査
3日	火	本会議	議案の審議（総務経済委員長報告・採決）、一般質問
4日	水	本会議	一般質問
5日	木	本会議	一般質問、議案の審議（説明・質疑・委員会付託）、予算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長の選任
6日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査、委員の派遣について
9日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査、委員の派遣について
11日	水	予算審査特別委員会	議案の審査
12日	木		
13日	金		
16日	月		
17日	火		
18日	水		
		財政健全化対策特別委員会	財政健全化対策に関する審査
19日	木	市税問題等調査特別委員会	議員の市税滞納に関する調査
23日	月	本会議	議案の審議（説明・採決）
25日	水	本会議	議案の審議（総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告・討論・採決）、議員の市税滞納に関する調査について、議員提出議案、意見書案、人事案件（監査委員・固定資産評価審査委員会委員・人権擁護委員）、閉会中継審査申し出、報告

平成二十一年第一回定例会は、三月二日から二十五日までの二十四日間を会期として開かれ、平成二十一年度予算やごみの広域処理にかかわる議案等を審議しました。

今定例会において、市税問題等調査特別委員会が調査を終え、最終日の本会議で調査結果が報告されました。

また、第一回臨時会が二月六日に開かれました。（記事七面）

〈議会だより第94号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
予算審査特別委員会	1～2面
常任委員会における審査	2面
市税問題等調査特別委員会	2面
一般質問	3～6面
新たに提出された陳情	7面
陳情の審査結果	7面
可決した意見書	7面
第1回臨時会	7面
本会議における討論	8面
議案等の審議結果	8面
人事	8面
議員提出議案	8面
議員の辞職	8面
委員の選任	8面
次回定例会の予定	8面

予算審査特別委員会

議案の審査概要

平成二十一年度の一般会計、特別会計（国民健康保険、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道）及び公営企業会計（病院、水道）の予算議案は、八人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

予算審査特別委員会

委員長 中谷博厚
 副委員長 松原敬司
 委員 石原正宣
 高橋洋文
 出口眞琴
 藤田昇
 草間道治
 小林直樹

解を得ながら進めていきたい。

意見 市民とともに議論を行い、夢のある場所にしていただきたい。

質問 改革プランに基づく経営改善について見解を伺う。

答弁 掲げた目標をクリアできるように対応していきたい。職員が一丸となり危機感を持って取り組むよう、開設者として発言していきたい。

質問 水道事業の移管・統合の取り組みは。

答弁 県営水道への移管は簡単には進まないと思うが、水道料金の公平性の観点から積極的に主張していきたい。（その他の質疑項目）

市民交流拠点整備 三崎高校跡地の活用策は。

答弁 市の中心核として、今後、市民交流拠点のコンセプトによる計画を示し、市民の理

・三浦スポーツ公園の活用について
 ・定額給付金の活用について、ほか

一般会計

歳入

- ・市税収入見込み額の減少理由と収納率向上の取り組みについて
- ・公用車への広告掲載による収入について

意見 二町谷の汚水処理施設の使用料を当初予算に見込んでいない。補正予算での対応は可能だが、科目設定をするべきではなかったか。

歳出

- 総務費
 - ・緊急雇用対策として行う事業について
 - ・暮らしのガイドの作成について
- 民生費
 - ・ひとり親家庭への支援について
 - ・障害者施設整備の進捗状況について
- 衛生費
 - ・火葬場管理棟の建て替えについて
- 農林水産業費
 - ・環境保全対策事業における農家への補助内容について
 - ・種苗放流事業予算の減少について
- 商工費
 - ・外国人旅行者の誘致について
- 土木費
 - ・市道整備について

要望 三浦スポーツ公園の工事に当たっては、施設利用に関する情報を早期に市民周知していただきたい。

- 消防費
 - ・津波ハザードマップの作成及び配付方法について
- 教育費
 - ・学校校務員業務、学校給食調理業務の民間委託について

意見 本市の就学援助金の交付認定基準は、近隣市に比べて厳しく、大きな差があることを切実に受け止めていただきたい。

- 災害復旧費
 - ・大雨等による農地からの土砂流出について
- 公債費
 - ・今後の公債費の見通しについて

特別会計

国民健康保険事業

- ・コンビニ収納導入の検討について
- ・今後の保険料の見直しについて

老人保健医療事業

- （質疑は特にありませんでした）

後期高齢者医療事業

- ・一般会計からの繰入金及び保険料の見直しについて
- ・滞納者への資格証交付に関する方針について

介護保険事業

- ・成年後見制度の周知・啓発の取り組みについて

市場事業

- ・冷凍マグロ取り扱い量の見直しについて
- ・水産施設及び市場施設への指定管理者導入の検討について

公共下水道事業

- ・公共下水道への接続の促進について
- ・緊急雇用創出事業交付金により行われる事業について

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

三月二日の審査

- ◎平成二十年度三浦市一般会計補正予算(第七号)
 - （質疑の主な項目）
 - ・定額給付金支給に関する事務手続について
 - ・子育て応援特別手当の支給について
 - （委員からの意見）
 - ・定額給付金が市内経済の活性化に結びつくような方策とともに、漏れなく支給されるよう対応を求める。

企業会計

病院事業

- ・市立病院改革プランに組み込むための体制づくりについて
- ・水道料金改定の方針について
- ・高山配水池のバイパス

水道事業

- ◎三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
 - （質疑の主な項目）
 - ・凍結される役職加算の支給額について
 - ◎三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - （質疑の主な項目）
 - ・医師の初任給調整手当が引き上げられることによる医師間の給与格差について

三月六日の審査

- ◎三浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例
 - （質疑は特にありませんでした）
- ◎三浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
 - （質疑の主な項目）
 - ・勤務時間短縮による時外勤務手当への影響について

都市厚生

都市厚生

- ◎三浦市介護従事者処遇改善臨時特別基金条例
 - （質疑の主な項目）
 - ・旅行雑費の対象となる経費区分について
 - （委員からの意見）
 - ・パスポート取得費用が実費支給されるが、民間企業であれば自己負担するものである。
- ◎平成二十年度三浦市一般会計補正予算(第八号)
 - （質疑の主な項目）
 - ・市内の里親家庭の状況

市税問題等調査特別委員会

- 質疑終了後、一般会計予算に対し、小林直樹委員より反対討論が、出口眞琴委員より賛成討論が行われました。
- また、後期高齢者医療事業特別会計予算に対しでは、小林直樹委員より反対討論が行われました。
- 文化遺産登録記念事業の計画内容について
- 「みうら夜市」の事業概要について

市税問題等調査特別委員会

- 市税問題等調査特別委員会は、平成二十年十二月八日に設置され、高梨孝元議員（二月六日議員辞職）の市税滞納に関する調査を行ってまいりました。
- 定例会最終日に委員長より調査報告が行われましたが、その概要は次のとおりです。

市税問題等調査特別委員会

市税滞納が生じているが、滞納額や滞納期間が不明確にできないこと、市税の納入は分割して行っていること、滞納は支払い能力がないことや課税内容に疑義があることかから生じていること、議員報酬が滞納の支払いに充てられていることが明らかになりました。

また、当該議員を特定が減額された理由について

◎平成二十年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)

- （質疑の主な項目）
 - ・高齢者医療制度円滑運営事業に伴うシステム改修事業について

意見 後期高齢者医療制度は、今もって反対の声が上がっており、制度そのものに問題がある。

◎平成二十年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第三号)

- （質疑の主な項目）
 - ・下宮田長作地区枝線整備

◎平成二十年度三浦市一般会計補正予算(第三号)

- （質疑の主な項目）
 - ・焼却は環境負荷が心配されるので、ごみの減量化が必要である。

- 質疑終了後、小林直樹委員より反対討論が、出口眞琴委員より賛成討論が行われました。
- また、後期高齢者医療事業特別会計予算に対しでは、小林直樹委員より反対討論が行われました。
- 文化遺産登録記念事業の計画内容について
- 「みうら夜市」の事業概要について

一般質問

質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。今定例会では、十五人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。



太陽光発電の普及促進

高齢者支援、ふるさと納税

公明党 藤田 昇

質問 地球温暖化対策として、国・県においては太陽光発電に対する補助制度を導入した。三浦市ではどのような補助を行うのか。

載や、市ホームページにリンクを張ることで情報が容易に入手できるように努めたい。

市民の皆様
に各種制度を有効に利用していただくために、「三浦市民」への掲載や、市ホームページにリンクを張ることで情報が容易に入手できるように努めたい。

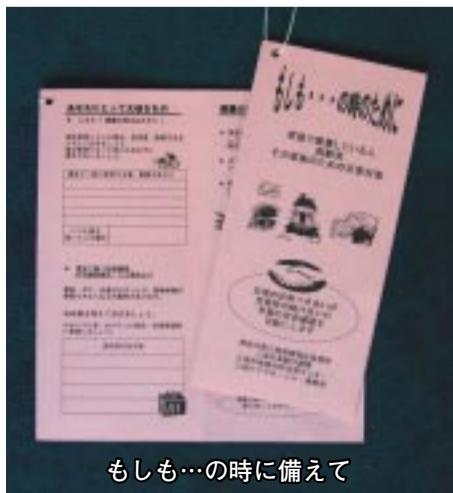
ためにも、積極的に募集に取り組んでほしい。
市長 三浦市の自然、伝統文化など多くの地域資源をPRして、ふるさと納税を積極的に募集していきたい。

質問 高齢者の安全・安心

昨年、高齢介護課を中心に、高齢者とその家族のために、緊急時の連絡先等が記載できるカードを作成、配付した。

これは非常に有効なものだと思っており、さらに、外出の際に携帯できるサイズの緊急時連絡カードを作成し、配付をしてい

るさと納税
制度は、納税者が税金の納付先や使い道を指定できる画期的な制度である。



もしも…の時に備えて

災害時要援護者の把握

介護保険、子育て世代への支援
日本共産党 立本 眞須美

質問 国は、災害時要援護者の避難支援ガイドラインを策定し、具体的な避難支援計画の策定を市町村に要請している。

過去の定例会において計画の具体化について質問したが、対象者の把握等、その後の取り組みの進捗状況は。

市長 現在、要援護者対策を必要とする対象者を再検討するとともに、地域の実情に合わせた体制づくりについても庁内で検討している。

検討結果を

早急にまとめ、平成二十一年度中に要援護者登録制度を立ち上げて、

要援護対象者の把握をしていきたい。

質問 介護保険の見直し

介護保険制度は、ことが第四期の見直し時期となる。今回の見直しでは、介護労働者の処遇改善を目的に介護報酬が引き上げられるが、介護保険料に影響が出ることになる。

市長 今回の保険料の算定に当たっての基本的な考え方を聞きたい。現行の保険料は、



デイサービスの様子

税制改正に伴う介護保険料の激変緩和措置がとられていますが、次期計画でも激変緩和措置を継続して行う。また、保険料区分をきめ細かく設定して介護保険料基準月額を抑えるなど、低所得者への配慮をしたい。

かった。

対象年齢の引き上げに對する方針をお聞きしたい。

市長 小児医療費助成の対象年齢については、平成二十二年度から一年齢ずつ引き上げ、平成二十四年度には、小学校三年生まで拡大する予定である。

質問 医療費助成制度の拡充

小児医療費助成

制度について、対象年齢の引き上げを求めてきたが、施政方針では、年齢引き上げについて

の言及はな

議決事項に対する姿勢

教育環境の検討、公共下水道
無所属 石原 正宣

無所属 石原 正宣

質問 平成二十年第三回定例会において、三崎高校跡地の造成にかかわる補正予算の議決をしたが、

今回、その事業の取り消しを意味する関連補正予算が提出された。

議会制民主主義における議決の重さと、議決事項を取りやめることの重大さについて、市長の認識を伺いたい。

市長 議会制民主主義において議決が軽んじられることは決してあってはならず、議決事項の着実

な執行は、市長及び補助執行機関の義務であると認識している。

今回の議案提出は、状況の変化により改めて議決をしようだ

いするため提案であることをご理解賜りたい。

基本方針の策定

質問 小中学校の適正規模、適正配置について、教育委員会での基本方針策定が非常におくれている。策定、公表はいつになるのか。

教育長 小中学校教育環境検討委員会からの提言をもとに検討を重ね、基本方針の策定作業を進め

てきた。三月の定例教育委員会、基本方針の決定を諮る予定である。

西南部公共下水道整備
質問 二十一年度施設方針では、二十七年の西

南部公共下水道事業着手に向けた全体計画の策定を二十四年度までに行うことが示された。

部処理区域の完了を待つ必要があると判断したからである。
これまでの、事業着手の時期を明確にできなかった状況から一歩踏み込んだ大きな決断であると考えている。



公共下水道の整備(東部処理区)

子供の体力向上の取り組み

市道整備事業の状況は
みうら市議会 出口 眞琴

質問 文部科学省が平成二十年度に実施した全国体力・運動能力・運動習慣等調査の調査結果が公表された。

今回の調査結果を、親の世代である三十年前と比較すると、全国的に身長、体重などの体格面が向上しているにもかかわらず、体力、運動能力は低下している。

児童・生徒の身体能力の低下は深刻な状況だと考えるが、学校での取り組みは。

教育長

子供の体力の向上を図るためには、何よりも子供たちが運動を好きになることが重要であり、そのためには、子供たちが運動を楽しめる環境づくりを進めることが求められる。

その手だてとしては、体育の授業内容を見直すなど、教育委員会として学校や教員への支援を行うとともに、城ヶ島駅伝競走大会などのスポーツ大会等に積極的に参加できる環境をつくって、親子で運動を楽しめる機会の増加を図っていききたい。

地元住民との話し合い

が持たれていない。

質問 小網代地区で予定される市道六百五十四号線道路整備事業について、平成二十年第四回定例会で、市長は、計画を進めるに当たり、地元住民と十分に話し合いをしていきたいと答弁した。

その後の話し合いの状況は。

市長

地元住民の皆さんと話し合いを持つため、今後の協議の進め方について関係者に相談をしたが、事業への反対陳情が地元から出されていることなどを理由に話し合いの機会



多くの小中学生が参加する城ヶ島駅伝

三浦の大地と農業

給食調理、校務員の民間委託
日本共産党 石橋 むつみ

質問 市長は、施政方針で地方向上の取り組みや環境保全型農業の推進について表明したが、これは具体的にどのようなことを指すのか。また何をしてきたのか。

市長 環境保全型農業は、土づくり等を基礎として、化学肥料や農薬の適正使用、節減等により、環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業を推進していくことだと考えている。

市内の圃場の土壌分析を行っており、分析結果

を農協が農家の皆さんにフ

ードバックすること、適切な施肥管理をしている。

給食調理の民間委託

質問 委託は四月開始だが、子供たちを中心に各界力合わせて「豊かな学校給食」をつくってきた歴史がある。教育の一環としての学校給食から「調理業務」を民間業者にゆだねてしまうと、調理の部分が食の教育に踏み込んでいくことができなくなるのではないかと、食の教育について、各学校と連携をとり、これまでと変わら

ない形で行う。また、調理場の栄養士も積極的に学校へ出向き、食事の大切さ、必要な栄養面等の指導を行っていく。

お聞きしたい。

教育部長

主な業務内容として、校舎や体育館内の清掃、樹木の剪定、施設設備の点検及び軽微な修繕、施設及び学校用地内の巡視並びに非常災害時応急措置に関すること等があり、学校現場や委託先とは定期的に連絡調整を行う。

学校校務員の民間委託

質問 民間委託がされる学校校務員の仕事は、ただ施設を管理するだけでなく、児童・生徒や教師、学校への来訪者等と接する場面も多い。

継続性と経験が物を言う仕事だと思いが、委託により行われる業務について



広がるキャベツ畑

行政運営の基本計画

中長期的なまちづくりの目標
フォーラムみうら 四宮 洋二

※は欄外に説明を記載

質問 ①今回、第4次総合計画の次期基本計画「三浦みらいプラン21」及び次期実施計画を策定したが、この意義について市長の見解を伺う。

②新たな基本計画及び実施計画策定に当たっての改善点や新しい手法、工夫等をお聞きしたい。

市長

①社会経済情勢が目まぐるしく変化し、行政執行にも柔軟な対応が求められている。

その中で、基本計画の前倒しと、基本計画と実

実施計画の一体化及び計画期間の短縮が必要だと判断して、新たな計画を策定した。

②これまで、行政評価を本格稼働させ、三浦市版PDCAサイクルの構築などを行ってきたが、その過程における問題点の改善は必要であると認識している。

新たな基本計画では、施策と事業の持つ目的の完全一致を図ったことや、施策展開の効果を測る数値指標を明記したこと、行政評価の透明性、客観性をより高めることが可能になった。

新たな基本計画では、過去の議会でも議論をいただいた新しい目標が、新たな基本計画では、まちづくりの目標である

社会情勢に見合う計画に

質問 現在の社会経済情勢の中での、基本計画及び実施計画策定の取り組みは高く評価する。

一方、中長期的なまちづくりにおいては、憂慮すべき難しい問題が含まれていると考えるが、市長の見解はどうか。

市長 中長期的なまちづくりの目標が必要であることは、過去の議会でも議論をいただいた

新たな基本計画では、まちづくりの目標である



人・まち・自然を感じる三浦に

定額給付金の速やかな給付を

三浦スポーツ公園、みうら夜市
公明党 佐瀬 喜代志

質問 定額給付金についてはさまざまな議論があるが、給付を待ち望む方も多く、着実に消費を喚起して、景気の下支えになると確信をしている。

①市長は、どのような効果を期待するのか。

②よりよい効果を出すためにも、ゴールデンウィーク前に給付を開始できないか。

市長

①定額給付金は、直接市内消費につながれば、市内経済に対して、はかり知れない影響力を

持つ。市内で消費され、経済活性化につながることを強く願う。

②混乱を来さないように周到な準備を行う必要があるが、できるだけ早い時期に交付するよう日程を調整したい。

愛称の市民公募

質問 平成二十一年度に完成する三浦スポーツ公園は、スポーツ振興を初め、シティ・セールスや防災機能等の役割を担う三浦市のシンボルとなる施設である。

市長

「うらり」や潮風アリアのように愛称の公募

は行うのか。

市長 三浦スポーツ公園は、市民に愛される施設として活用してほしいと考える。その意味で、愛称の市民公募は有意義な取り組みであり、二十一年度中に公募を行い、愛称を決定したい。

みうら夜市の開催

質問 施政方針には、シティ・セールの大きな武器として、地産地食をコンセプトとした「みうら夜市(よいち)」を三崎下町商店街において開催し、食体験を通じた三浦ファンの獲得を目指

市長

す、とある。どのような形で実施するのか。

市長 市内の食にかかわる団体等で実行委員会を組織し実施したい。また、昭和の風情が残る町並みを活用したライトアップ等の演出を検討している。



昭和の風情漂う三崎下町商店街

これからの農業経営は

市立病院、未収金対策
無所属 原田 雅一

質問 三浦市の高齢化率は、県下において一、二位のランクであるが、農業者の高齢化の状況はどうか。

市長 三浦市では、農業就業人口の約三％が六十五歳以上であり、高齢の方が農業経営の主体であることがうかがえる。

市長 三浦市では、農業就業人口の約三％が六十五歳以上であり、高齢の方が農業経営の主体であることがうかがえる。

農業の法人化等については、農協等の意見を聞きながら、後継者不足に悩む農

家は相談にも応じていきたい。

市立病院の経営方針 三浦市立病院は、市民の健康と命を守る中核的医療機関として、なくてはならないものであるが、今後の病院経営の方向を伺いたい。

市長 平成二十一年度においては、医師の確保に努め、できる限り早い時期に、予定している医師十七名体制を整えたい。また、これまで取り組

んできた経費削減及び経営改善について、より一層取り組む姿勢を求め、市立病院の経常収支が健全化できるように努力したい。

徴収体制の強化 市税等の未収金対策として、管理職が収納業務に当たり、成果を上げていく自治体がある。

市長 本市でも、再任用職員のうち元管理職による未納未収金の特別徴収班を編成し、徴収業務に当たっていただいてはどうか。



看護フェスティバル

行政改革の推進

農業振興、市税滞納
みうら市政会 草間 道治

質問 市長は就任以来、株式会社三浦市を目指し、効率的かつ効果的で市民本位、市民参加の市政実現のため、行政改革を進めている。

市長 これまでの実績を踏まえ、今後、行政改革にどのように取り組むのか。具体的に取り組みとして、市職員の地域手当の削減を段階的に行っており、平成二十二年度までの削減効果は約二億二千万円と推計される。市長就任時に示した三

浦ブランドの開発や土壌診断の支援など農業振興事業を行っているが、今後も環境保全型農業の推進のため、より一層の支援をお願いしたい。

市長 二十一年度からは環境保全や市民の安全対策のため、新たに農業の空き缶等の処理に対する



行政改革を進める三浦市

定額給付金の効果は

給付金交付は自治事務か
フォーラムみうら 高橋 洋文

質問 定額給付金は当初、生活支援施策として進められたが、急激な経済悪化を受け、消費を喚起し経済効果を高める施策へと変化した。政策意図があいまいになり、効果も疑わしい状態のまま支出されること果たしてよい結果につながるのか、一抹の不安を抱かずにはいられない。

市長 市民が納めた税金は、明確な目的と効果が期待されてこそ支出されるべきであるが、市長の考え

自治事務としての認識は ①定額給付金の交付事務に関する法律は制定されていないため、自治体は自治事務として作業負担を負う。

しかし、交付事務は全国一律の基準により行うものであり、事実上の法定受託事務として認識されるのではないかと。②交付事務は、廃止された機関委任事務の復活であるとの批判がある。国に対して異議申し立てを行うべきではないか。

市長 ①交付事務は、法定受託事務と定められていないため自治事務であるとして解釈するが、全国で統一的に給付し、自治体の裁量権が働かず、独逸色

も出せない点などについては、やや疑問が残っている。②経済不況の中、市民生活支援のための緊急避難的な経済施策である点を理解し、事業を執行していきたいと思っている。三浦市として、あえて国に異議の申し立てを行う考えは持っていない。



申請受付を開始した定額給付金

事業者の意向確認を

患者数の減少、住宅の耐震化
日本共産党 小林 直樹

質問 市内で計画されている開発事業において、事業が中断して進展しないものについては、事業者の意向を聞き、事前相談書等を取り下げてもらふ必要があると思うが、どのように考えるか。

市長 現在、事前相談中から覚書を交換する前の段階にある事業の中で、長期間進展がない、または進展が見込めない事業が六事業ある。

市長 これらの事業については、定期的に事業主側に

取り下げを含めて確認をしている。

市立病院 本年一月末までの患者数の実績を見ると、十九年度より外来患者数は一万九千九百六人減少しており、入院患者数も六千三百九十八人減少している。これは医師不足が一番の原因だと思いが、詳細について分析をしているか。

市長 患者数減少の大きな原因は、整形外科医師が二人減ったことであり、手術件数が落ち込み、入院患者数にも影響した。少しでも早い時期に整形外科医師の三人体制を

実現し、市立病院の経営改善を目指してまいりたい。

耐震化に対する補助 建築物の倒壊は、住んでいる方に直接被害をもたらすとともに、道路をふさいで救援活動の妨げとなるため、住宅の耐震化は都市防災の観点からも重要である。

市長 現在、市では、木造住宅耐震診断と耐震補強工事に最高四十二万円の補助を行っているが、耐震補強工事には多額の費用がかかるので補助金



地震で倒壊した新潟県柏崎市の住宅

教育と福祉の連携

学校給食の試食会を
みうら市議会 神田 眞弓
※は欄外に説明を記載

質問 ①今回、第4次三浦市総合計画の基本計画と実施計画が見直されたが、教育と福祉の連携については一歩踏み込んだ施策が見られなかった。

市長は以前、教育と福祉の連携について、庁内プロジェクトの立ち上げに理解を示し、早急に取り組むたいと述べていたが、今後、実施計画の中でどのように取り組んでいくのか。

②子供の行動・情緒問題の予防と治療を目的に

開発されたトリプルPについては、子育てプログラムとして定着し、子育てから地域の活性化につながる可能性があるとされている。

今後、本市でもトリプルPを積極的に導入し、子育て支援の一環として取り組んではどうか。

市長

①庁内プロジェクトの立ち上げに関する事前調整会議を開催したところであり、具体的な準備が整い次第、実施計画事業に追加するなど積極的な対応を図ってまいります。

立病院の医師や民間保育所の保育士が、このプログラムの進行役や講師ができる資格を持っていると聞いている。

また、保護者等への試食会も、従来どおり各校の要望に応じて対応していく。



栄養バランスのとれた学校給食

また、保護者等への試食会も、従来どおり各校の要望に応じて対応していく。

教育部長

給食展での試食会は実施する方向で検討していく予定です。

PDCAサイクルとは

度決算時における市民納得度調査などの行政評価と行政サービスの品質説明書の公表、「アクション」として事前評価を経た翌年度予算編成などの手続から構成されている。

ごみ処理業務の一部委託
質問 ごみ処理業務への民間活力の導入について、検討状況と年間の財政的効果について伺いたい。

市長 桜の植栽用として過去にいただいた寄附金を活用し、公園内へ約百本の桜の苗木を植える予定である。

質問 市長は平成二十一年度の施政方針で、次期基本計画、次期実施計画を市政執行の羅針盤とし、プラン・ドウ・チェック・アクションのPDCAサイクルを充実させる重要なツールとして活用すると述べている。

市長 このPDCAサイクルの仕組みについて伺う。

市長 二十一年度予算においては、歳出の削減効果が三億二百万円余り、歳入の増加効果が二億五千八百万円弱で、合わせ

質問 桜の植栽
市長 市民の憩いの場となるよう、三浦スポーツ公園に桜を植えていただきたい。



ごみの収集作業

市立病院の経営改善

自治体間における防災協定
フォーラムみうら 北川 年一
※は欄外に説明を記載

質問 国の公立病院改革ガイドラインにより、病院改革プランの策定や病院の経営健全化に向けた収支計画書の作成が求められている。

市長 市立病院の経営健全化に向け、まずは地方

公営企業法の全部適用を平成二十二年四月に行えるよう、一年間かけて準備を進める。

自治体間の応援体制

質問 災害の初期や想定外の大災害時には、系統的な対応が困難な場合がある。交通や通信網が断たれた場合に、自治体職員は勤務地に向かうのか、それとも、居住地での応急対応に当たるのか。

現在、各自治体の職員は勤務地に参集することになっているが、今後、三浦半島地区の自治体間において問題提起をし、より連携のとれた応援体制を築く努力をしたいと考えている。

市長 三浦半島地区四市一町において震災時の相互応援協定を締結し、総合的な応援体制を確立している。



経営改善に取り組む市立病院

事業計画と行政の対応

人口計画、枝木の堆肥化
フォーラムみうら 松原 敬司

質問 三崎高校跡地の利用計画のため、市は平成十七年度に委託調査を行ったが、調査結果は政策決定につながらず、熟度のない計画となっている。

市長 二十一年度予算においては、歳出の削減効果が三億二百万円余り、歳入の増加効果が二億五千八百万円弱で、合わせ

市長 二十一年度予算においては、歳出の削減効果が三億二百万円余り、歳入の増加効果が二億五千八百万円弱で、合わせ

環境部長 視察をした結果、剪定枝の堆肥化は有効な手法の一つであると認識し、民間との共同研究事業について検討を行ってきたい。

市長 委託結果である(仮称)市民交流拠点整備

市長 本市に限らず、国や自治体の行政計画にお

市長 本市に限らず、国や自治体の行政計画にお



堆肥化される枝木等の山

※トリプルP……ポジティブ・ペアレンティング・プログラムの3つのPを意味し、日本では「前向き子育てプログラム」と呼ばれる
※地方公営企業法の全部適用……地方公営企業法の全規定を適用すること。開設者(市長)にかわり事業管理者に組織、人事、労務、給与、財務制度などの権限が与えられる

可決した意見書(概要)

医療費助成制度に関する意見書

神奈川県は、昨年10月から重度障害者・ひとり親・小児医療費助成制度への一部負担金導入及び重度障害者の65歳以上の新規加入者を制度の対象としないこととした。また、本年10月からは重度障害者医療費助成制度に所得制限を導入することとしている。

この大幅な制度見直しに対し、ほとんどの市町村では、厳しい財政事情の中、障害者等の健康保持及び増進のために従前の助成を堅持している。

神奈川県においては、各市町村の実情を理解し、医療費助成制度を維持するため、改めて制度の見直しをするよう強く要望する。

〈提出先〉 神奈川県知事

私学助成制度の拡充を求める意見書

神奈川県における私学助成金の額は全国最低の水準であり、私学に学びたくとも経済的な理由で入学を断念または途中で退学せざるを得ない状況も起きている。

すべての子供たちに行き届いた教育を進めるためには、私学への助成制度をさらに拡充することが必要であり、国及び神奈川県においては、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 私立高等学校等への助成金削減を行うことなく、国庫補助金の増額を図ること
- 2 教育諸条件の整備に向けた私学助成制度の拡充を図ること

〈提出先〉 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、神奈川県知事

新たに提出された陳情

◎陳情書(重度障害者医療費助成制度を含む三助成制度の維持継続について)

趣旨 本陳情は、重度障害者・ひとり親・小児医療費の助成制度を、平成二十一年度も現行のまま維持継続することを求めています。

◎国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、私学助成の拡充を求める意見書を国及び県に提出することを求めています。

◎「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書の提出について

趣旨 本陳情は、「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書を国に提出することを求めています。

◎市道六百五十四―一号線整備計画白紙撤回及び、県所有地の譲渡依頼取り下げを求める陳情書

趣旨 本陳情は、市が市道六百五十四―一号線整備計画の白紙撤回をすること及び神奈川県に対する土地の譲渡依頼を取り下げを求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

3月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて54件を審査しました。

今回、結果の出た陳情、取り下げを承認した陳情は、次のとおりです。そのほかの46件は、今後も引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	陳情書(重度障害者医療費助成制度を含む3助成制度の維持継続について)	了承できるもの
	県の医療費助成制度見直しに関する陳情	〃
	貴市における医療費助成制度維持に関する陳情	〃
	三浦市における医療費助成制度拡充に関する陳情	〃
	3福祉医療費助成制度の拡充を求める陳情書	〃
	国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情	〃
	陳情書(重度医療費助成制度を含む3助成制度の維持継続について)	取り下げ承認
	陳情書(「プロパスト計画」臨海計画におけるマリーナ沖への防波堤建設及びテトラポット投入計画の抜本的な見直しを求める)	〃

第一回臨時会

平成二十一年第一回臨時会は、二月六日に会期一日で開かれ、市長提出の議案二件を審議し、いずれも可決しました。

また、議員より提出された「高梨 孝議員の辞職勧告決議」を急施事件と認定し、審議の結果、全会一致で可決しました。

なお、決議を受け、臨時会閉会後には高梨 孝議員が議員の職を辞しています。

都市厚生

「借入期間中の利息を加算した額」とされている。この利息によって、将来的に市に多大な負担が発生するおそれがあり、損失補償をすることには反対する。

◎工事請負契約の締結について

(質疑の主な項目)
・事業予算の内訳について

総務経済

◎平成二十年度三浦市一般会計補正予算(第六号)

(質疑の主な項目)
・生活保護世帯数の動向と、扶助費に係る今後の見直しについて
・三浦地域資源ユーズ(株)と交わしている覚書の内容について
・市が民間会社の損失補償を行う基準について

質疑終了後、高梨 孝委員より討論が行われました。

●三浦地域資源ユーズ(株)の資金借り入れに伴う金融機関に対する損失補償については、限度額が

可決した決議

高梨 孝議員の辞職勧告決議(概要)

高梨 孝議員は、市税問題等調査特別委員会において市税滞納の事実は認めたものの、滞納の時期や金額を明らかにせず、終始、責任を回避している。

このたびの高梨 孝議員の市税滞納問題には多くの市民が関心を持ち、厳しい叱責の声が我々市議会議員に対しても寄せられており、三浦市議会への信頼を著しく失墜させたと言わざるを得ない。

よって三浦市議会は、議会の名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するため、高梨 孝議員に直ちに市議会議員の職を辞するよう勧告する。



て
・管理棟建設と並行して行われるスポーツ公園の整備について
・スポーツ資料の展示等による管理棟の活用について
(委員からの意見)
・スポーツ振興とあわせて、ふだんスポーツに触れる機会の少ない市民が運動を始めるきっかけをつくるという、健康づくりの視点からの施策が必要である。

本会議における討論

～議案第18号 平成21年度三浦市一般会計予算～

反対討論

日本共産党

小林直樹

二町谷埋立事業では、平成二十一年度は汚水処理施設に一滴の汚水も入らない予算になっているが、維持管理費は四百万円以上を要する。これはまったくの無駄である。

学校校務員の民間委託は、校務に支障を来すおそれがある。学校給食の民間委託では、栄養士が調理員に直接指示できなくなる。そのため、安全でおいしい給食をつくることのできるのか心配である。

市内の経済状況は厳しく、経済振興を図ることが切実に求められている。無駄のない市民本位の財政運営を求めて、反対する。

賛成討論

みうら市政会

草間道治

平成二十一年度予算編成に当たっては、市民皆様の納得を得られるよう、積極的な編成に努めている。歳出においては、福祉や健康づくり、教育、子育て支援などを着実に実施するための予算を計上している。

また、事業費の削減や雇用創出のため、四月より学校給食及び学校校務員の民間委託をスタートさせる。

委員会での審査内容を精査し、市長を初め、職員が一丸となって今後の予算執行にまい進することを期待して、賛成する。

賛成討論

公明党

藤田昇

平成二十一年度予算は、総合計画の推進に向けた予算であり、また、国からの交付金等の活用など、市内の景気対策のために二十年度補正予算と一体的に組まれている。

歳入では、財源不足を補うために、地方交付税と臨時財政対策債の増額、基金の取り崩しにより対応しており、歳出では、安全・安心対策の充実・強化や、子育て環境の充実、地域活性化など、地域が元気になる取り組みに大いに期待する。

職員が一丸となり、市民皆様に納得いただける市政運営を期待して、賛成する。

議員提出議案

三浦市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

平成二十一年六月及び十二月に支給される市議会議員の期末手当について、三浦市の置かれている厳しい財政状況等をかんがみ、役職加算(十五%)を凍結するための条例改正をしました。

人事

市長より、人事案件三件が提出され、いずれも原案のとおり同意または異議なき旨答申することに決しました。

監査委員

長 治 優子 氏

固定資産評価審査委員会委員

松 原 隆 文 氏

人権擁護委員

仁 藤 千枝里 氏

議員の辞職を許可

二月六日、高梨 孝議員より辞職願が提出され、同日付をもって議長が受理、辞職の許可をしました。

このことにより、三浦市議会議員の現員数は十七人となりました。

委員の選任

議員辞職に伴い、特別委員会委員に欠員が生じたため、議長指名により委員の選任を行いました。

財政健全化対策特別委員会

委員 石原正宣

議会を傍聴しませんか

平成21年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
7月3日	金	招集告示
7日	火	議会運営委員会(日程・審査方法等決定)
10日	金	本会議(一般質問)
13日	月	本会議(一般質問)
14日	火	本会議(一般質問)・決算審査特別委員会
15日	水	総務経済常任委員会
16日	木	都市厚生常任委員会
21日	火	二町谷水産加工団地対策特別委員会・財政健全化対策特別委員会
23日	木	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463
※請願・陳情の提出期限は7月6日(月)です。

本会議での議案等の審議結果(第1回臨時会・第1回定例会)

番 号	件 名	議決状況	
		原案可決	全会一致
議案第1号	工事請負契約の締結について	〃	全会一致
議案第2号	平成20年度三浦市一般会計補正予算(第6号)	〃	賛成多数
議案第3号	平成20年度三浦市一般会計補正予算(第7号)	〃	全会一致
議案第4号	平成20年度三浦市水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第5号	三浦市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例	〃	〃
議案第6号	三浦市個人情報保護条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第7号	三浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第8号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第9号	三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第10号	三浦市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第11号	三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第12号	三浦市介護保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第13号	平成20年度三浦市一般会計補正予算(第8号)	〃	賛成多数
議案第14号	平成20年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	全会一致
議案第15号	平成20年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃	賛成多数
議案第16号	平成20年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	全会一致
議案第17号	平成20年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第18号	平成21年度三浦市一般会計予算	〃	賛成多数
議案第19号	平成21年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	〃	全会一致
議案第20号	平成21年度三浦市老人保健医療事業特別会計予算	〃	〃
議案第21号	平成21年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	賛成多数
議案第22号	平成21年度三浦市介護保険事業特別会計予算	〃	全会一致
議案第23号	平成21年度三浦市市場事業特別会計予算	〃	〃
議案第24号	平成21年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	〃	〃
議案第25号	平成21年度三浦市病院事業会計予算	〃	〃
議案第26号	平成21年度三浦市水道事業会計予算	〃	〃
議案第27号	市道路線の認定について	〃	〃
議案第28号	事務の委託に関する協議について	〃	〃
議案第29号	事務の受託に関する協議について	〃	〃
議案第30号	平成20年度三浦市一般会計補正予算(第9号)	〃	〃
議案第31号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	〃
議案第32号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	〃	〃
議員提出議案第1号	三浦市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	〃
意見書案第1号	医療費助成制度に関する意見書	〃	〃
意見書案第2号	私学助成制度の拡充を求める意見書	〃	〃
決議案第1号	高梨 孝議員の辞職勧告決議	〃	〃
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	異議なき旨答申	〃
報告第1号	専決処分の報告について	報告	—
報告第2号	専決処分の報告について	〃	—